

# 平成29年度 第1回 滋賀県渋滞対策協議会

## 主要渋滞箇所等の交通状況

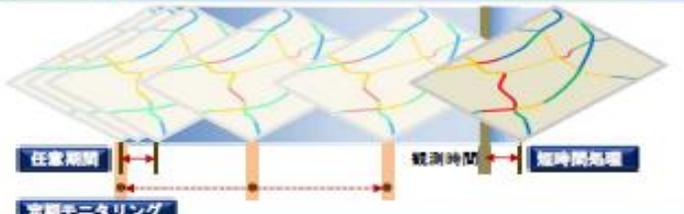
---

平成29年8月4日(金)

# 1. ビッグデータの活用(ETC2.0データ)

○平成28年度の渋滞対策協議会において、交通状況分析にあたって、これまでは、観測範囲やデータの種類、きめ細かさや取得頻度等に制約があったが、今後は、ETC2.0等のビッグデータを活用して、今まで把握できなかったような交通状況を分析していくことが重要であるとのこと指摘をいただいている

## ■これまでの交通状況分析、今後の交通状況分析

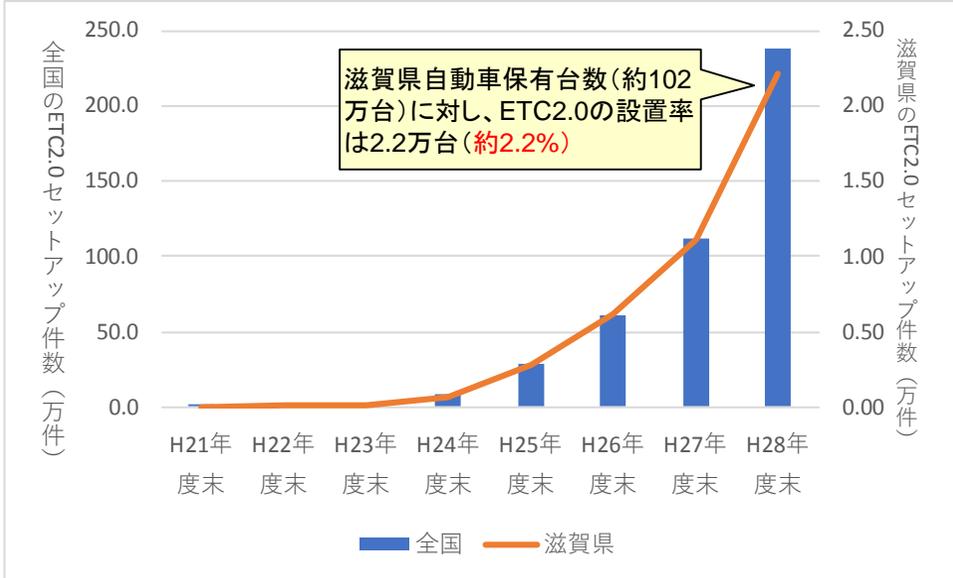
<b>これまで</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・車両感知器、路側カメラ等は、定点観測データであり面的なデータ収集は行えない</li><li>・交通死傷事故、道路交通調査等の統計データは、データの細かさや取得頻度に制限</li><li>・個々の車両の動きはアンケート調査（OD調査等）等によっているが、実測値ではない</li></ul>			
<b>これから</b>	<b>①日本全国の任意エリア・路線のデータを活用できる</b> 	<b>②車両の動きに関する詳細なデータを活用できる</b> 		
	<b>③任意期間やタイムラグのないデータを活用できる</b> 	<b>④正確性や真実性の高いデータを活用できる</b> 		

出典：平成28年度第1回渋滞対策協議会資料

# 2. ETC2.0データを用いた分析の妥当性

- ETC2.0のセットアップ件数は年々増加し、滋賀県内では、平成28年度末で約2.2万台が設置（設置率は約2.2%）
  - 都市圏パーソントリップ調査では、約3%程度の標本率が用いられている。
  - 上記の標本率に対し、ETC2.0の設置率は概ね上記標本率と一致している
- ⇒近年のETC2.0の普及により信頼度の高い分析が可能となっている。

## ■ETC2.0のセットアップ件数の推移



出典：(セットアップ件数)ETC総合情報ポータルサイト、  
(自動車保有台数)一般財団法人 自動車検査登録情報協会HP

## ■都市圏パーソントリップ調査での標本率

検討する施策の影響する規模や検討に必要な分析の制度に応じて、ゾーン区分やカテゴリー数を設定した上で、都市圏パーソントリップ調査の標本率の設定方法を適用している。全域小サンプル型では、約3%前後の抽出率を設定している。

	人口	細ゾーン数	抽出率	サンプル数
A市	30.8万人	18	3.27%	約4000世帯
B市	61.6万人	32	2.92%	約6800世帯

出典：特定目的PT調査について(国土交通省HP)

## ■東京都市圏パーソントリップ調査での標本率

	S63基準年調査	H5中間年調査
調査圏域	東京都, 神奈川県, 埼玉県, 千葉県, 茨城県南部	
対象人口	約3,071万人	約3,204万人
有効票数 (標本率)	約66.8万 (約2.175%)	約9.7万 (約0.304%)

出典：土木計画学研究・論文集  
(小規模PT調査データを活用した交通量データの更新方法)

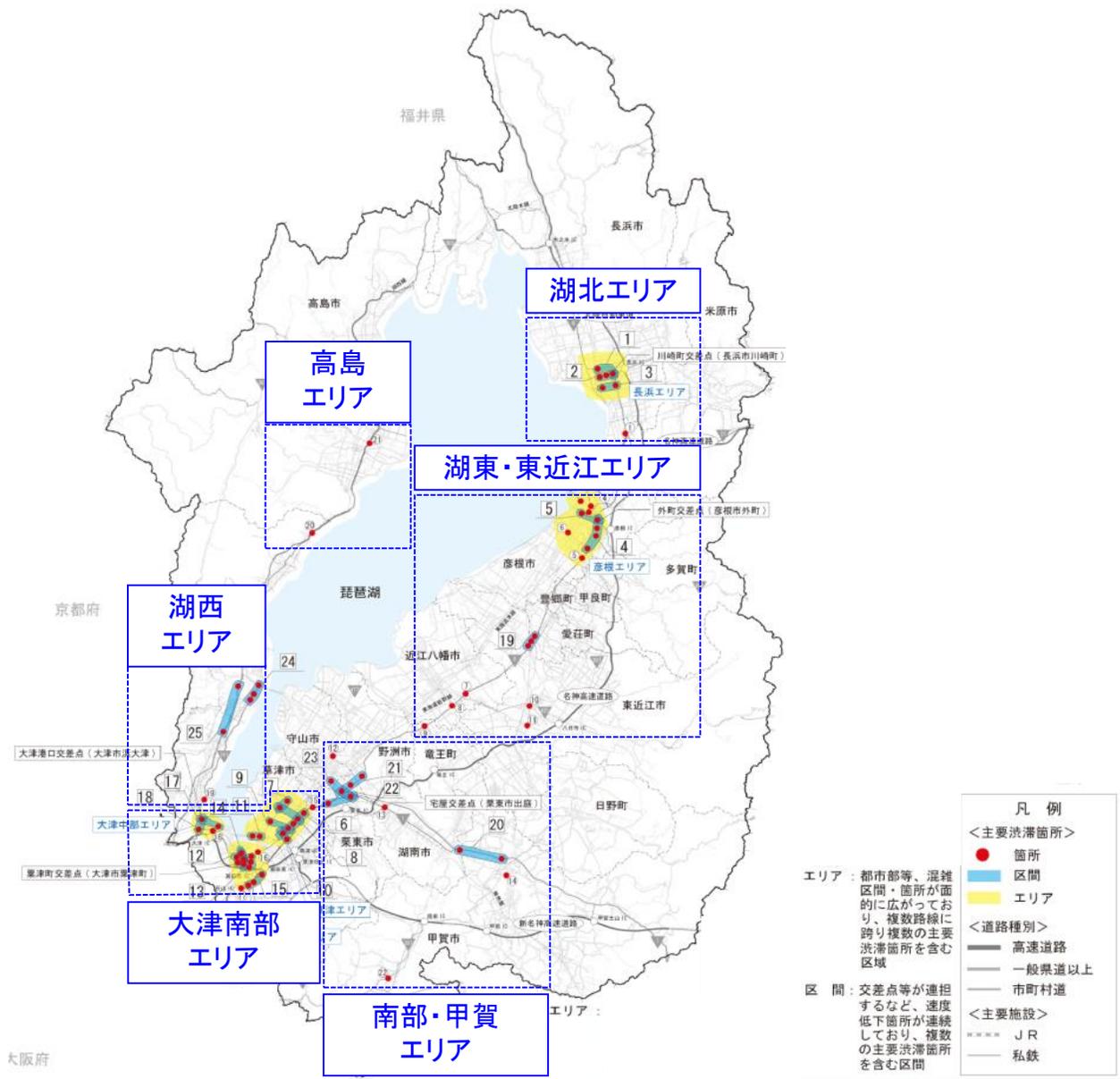
## ■分析の妥当性検証

(セットアップ率とパーソントリップ調査での標本率との比較)  
⇒同程度であり、PT調査に近いレベルの信頼度は確保できる

# 3. エリアごとの交通状況

○以下の図に示すエリア毎に主要渋滞箇所等の交通状況を確認

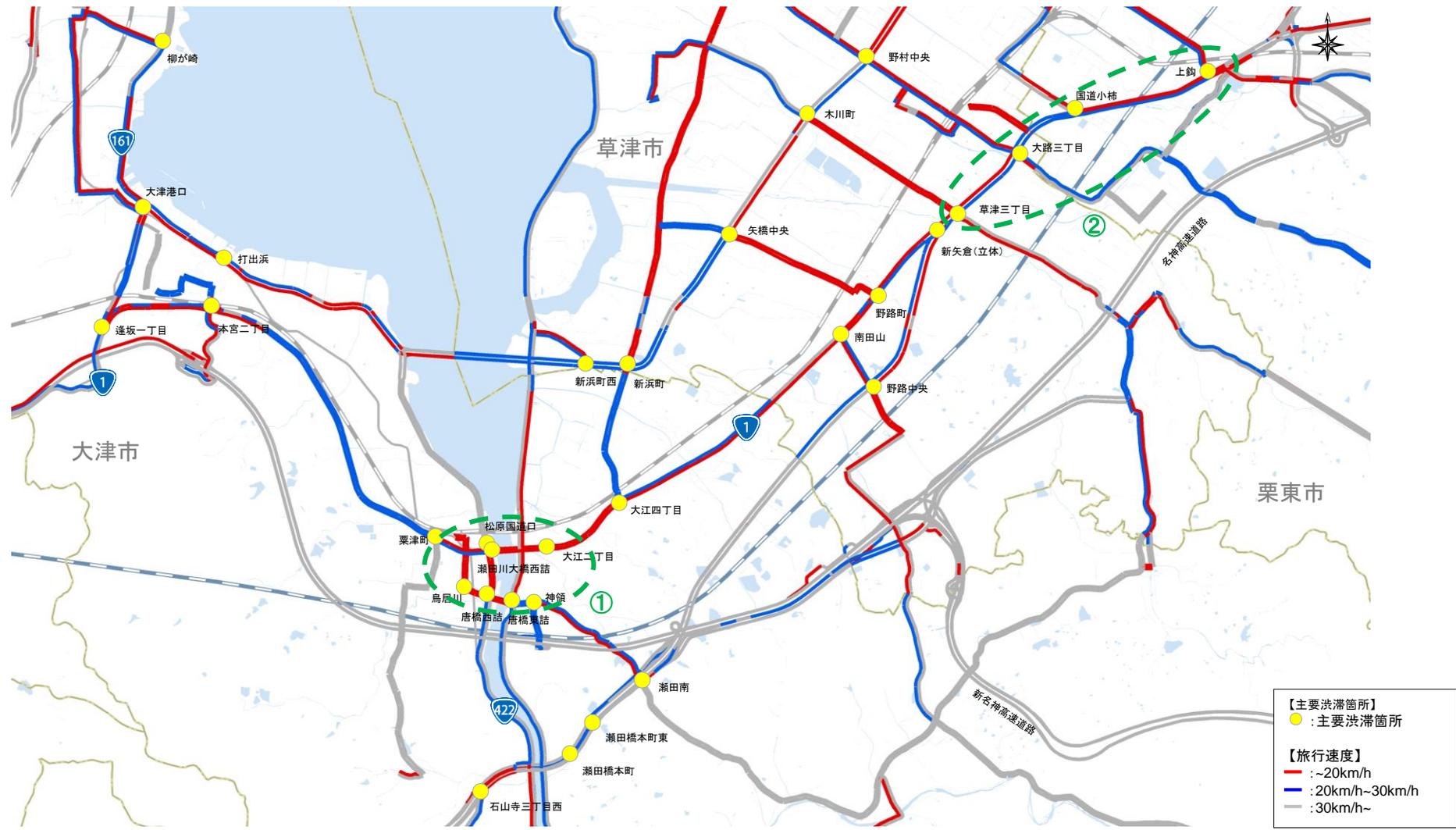
## ■エリア区分図



# 4. エリア毎の交通状況【大津・南部エリア】

- ① 主要渋滞箇所が集中する瀬田川渡河部では旅行速度が20km/hを下回っている。
- ② 国道1号上鉤交差点～草津三丁目交差点間においても旅行速度の低下が見られる。

■ 平日朝夕ピーク時平均旅行速度



※出典:ETC2.0データ H28年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度 ※データ欠損区間は、民間プローブデータで補完

# 5. エリア毎の交通状況【湖西エリア】

① 国道161号仰木雄琴IC～坂本北IC周辺では、自動車専用道路にも関わらず、30km/h以下の区間が存在。

■ 平日朝夕ピーク時平均旅行速度



【主要渋滞箇所】  
● : 主要渋滞箇所

【旅行速度】  
— : ~20km/h  
— : 20km/h~30km/h  
— : 30km/h~

※出典:ETC2.0データ H28年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度 ※データ欠損区間は、民間プローブデータで補完

# 6. エリア毎の交通状況【南部・甲賀エリア】

- ① 国道1号バイパス東行方面(暫定2車線区間)では、旅行速度が20km/hを下回っている区間がある。
- ② 国道8号の御上神社前交差点～宅屋交差点間では上下線共に旅行速度が20km/hを下回っている。

■ 平日朝夕ピーク時平均旅行速度

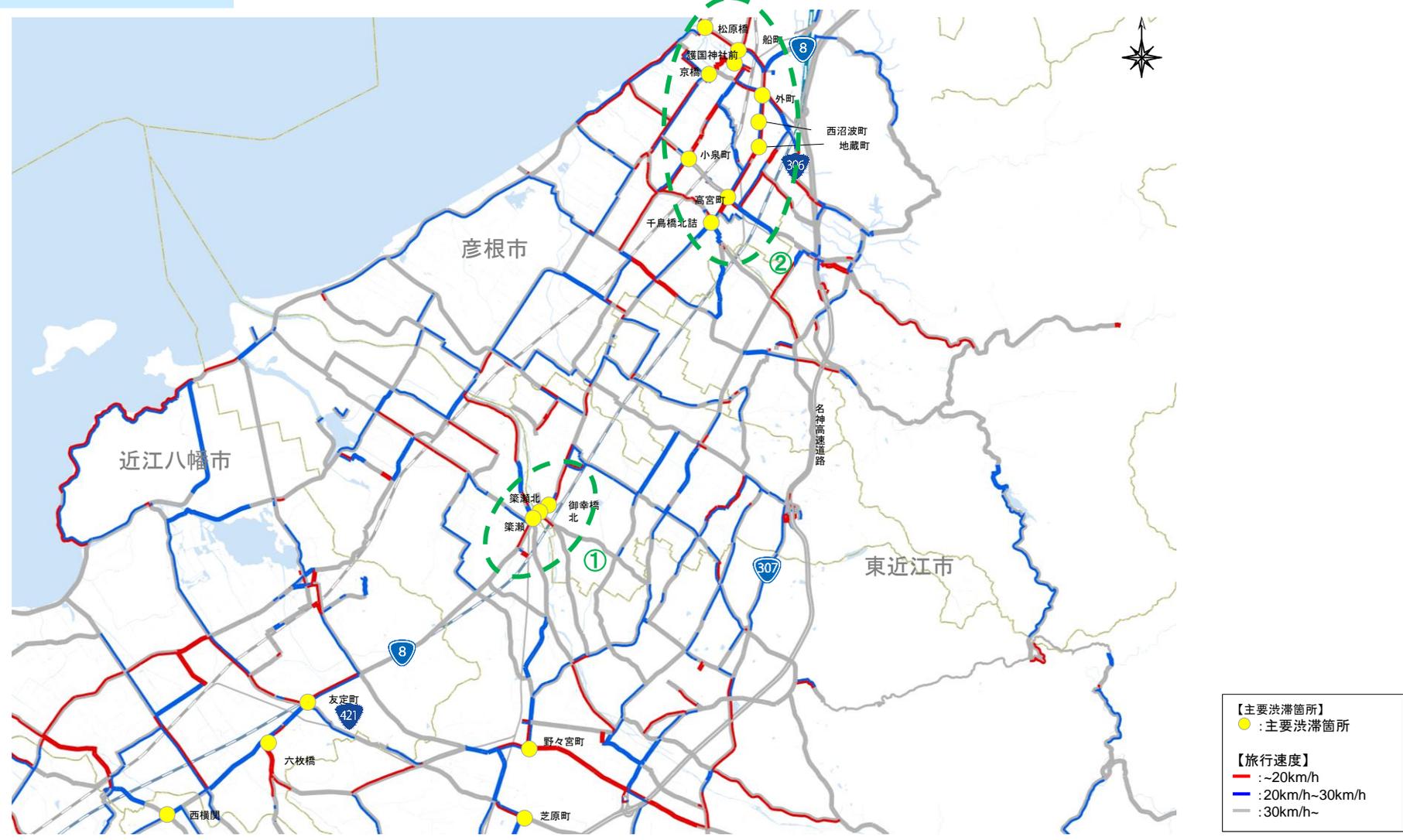


※出典:ETC2.0データ H28年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度 ※データ欠損区間は、民間プローブデータで補完

# 7. エリア毎の交通状況【湖東・東近江エリア】

- ① 国道8号では愛知川渡河部において旅行速度が20km/hを下回っている。
- ② 彦根市街地や外町交差点～千鳥橋北詰交差点においても旅行速度の低下が目立つ。

■ 平日朝夕ピーク時平均旅行速度

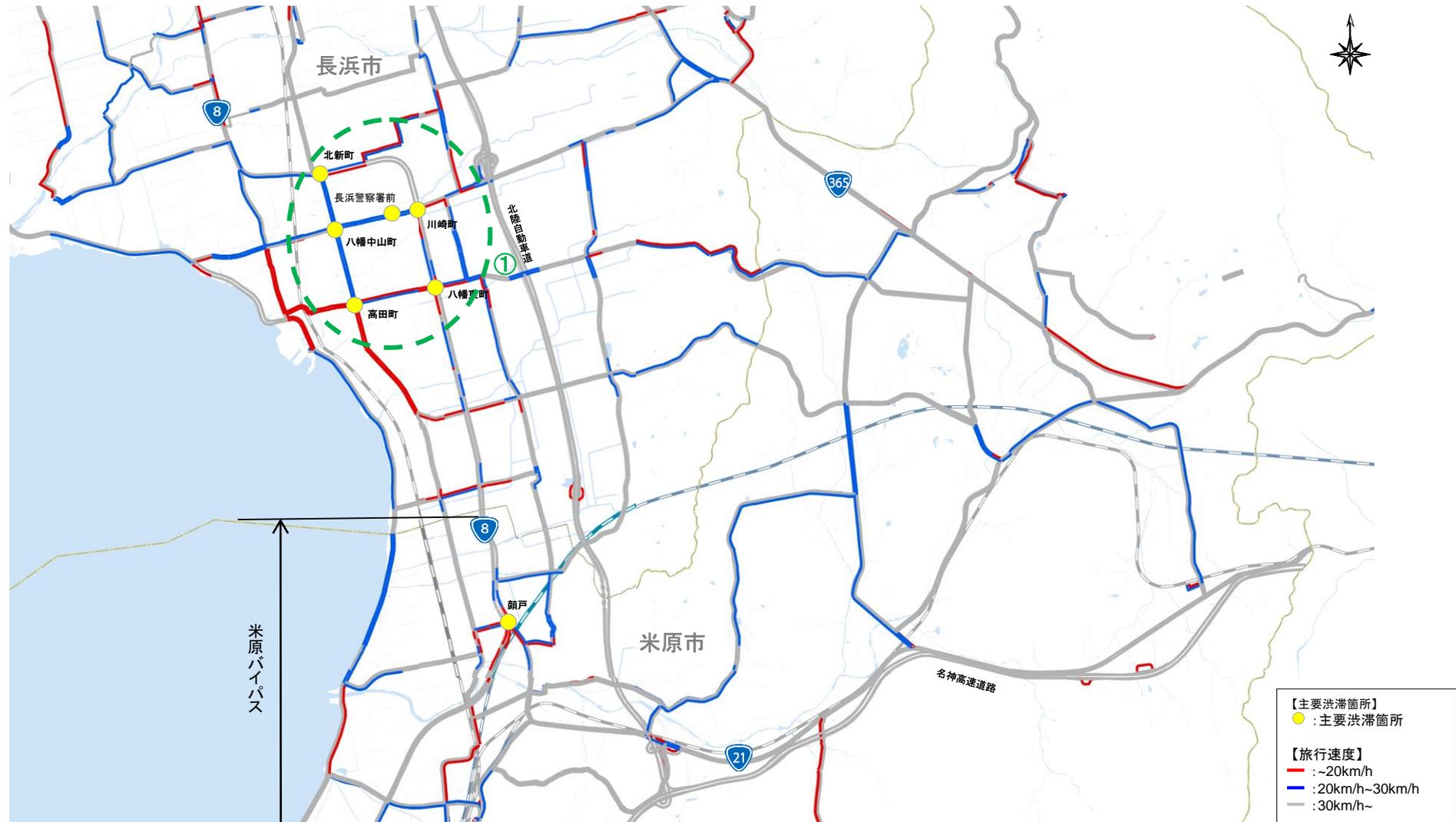


※出典:ETC2.0データ H28年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、タピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度 ※データ欠損区間は、民間プローブデータで補完

# 8. エリア毎の交通状況【湖北エリア】

①長浜市街地での主要渋滞箇所において、旅行速度が20km/hを下回っている箇所が多い。

■平日朝夕ピーク時平均旅行速度



※出典:ETC2.0データ H28年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度 ※データ欠損区間は、民間プローブデータで補完

# 9. エリア毎の交通状況【高島エリア】

- ①北小松交差点では流入部での旅行速度が20km/hを下回っており、渋滞が残存している。
- ②青柳北交差点では渋滞が解消されており、国道161号全体で見た場合、目立った渋滞箇所は確認できない。

■平日朝夕ピーク時平均旅行速度



※出典:ETC2.0データ H28年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度 ※データ欠損区間は、民間プローブデータで補完